

拡張された機能

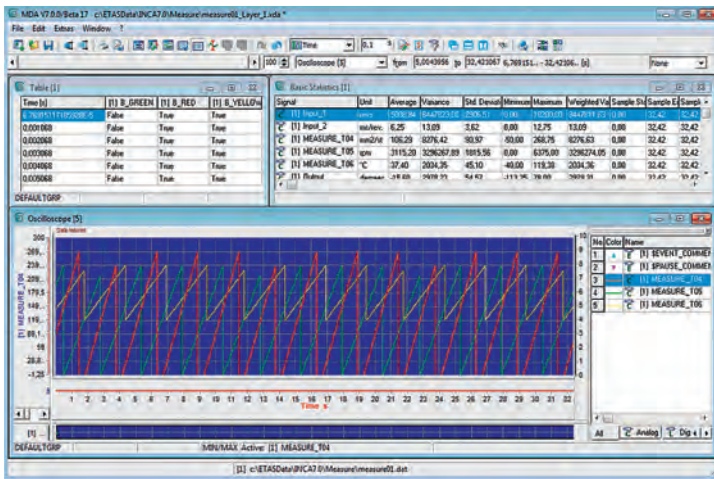


Extended Functions

AUTOSAR オーサリングユーザーは、新しい ISOLAR-A 基本パッケージにより大幅な改善を堪能できます。

このパッケージには新しいエディタ、インポータ (DBC, FIBEX, LDF、および ODX)、自動機能、妥当性確認機能、およびエクスポータ (システムベース、ECU Extract, RTE コンフィギュレーション) が含まれています。BCT アドオンは、インポータ (ECU Extract など)、エディタ、妥当性確認機能、および COMASSO* ベーシックソフトウェアモジュール用 C コード生成機能により、AUTOSAR ベーシックソフトウェアを設定するのに役立ちます。どちらのパッケージもシングルコアおよびマルチコアの電子制御装置をサポートしていて、コマンドラインを使用して操作することもできます。

*) COMASSO e. V. は、AUTOSAR 規格の一般的な実装と使用を支援する登録団体です (<http://www.comasso.org>)



強力な新製品

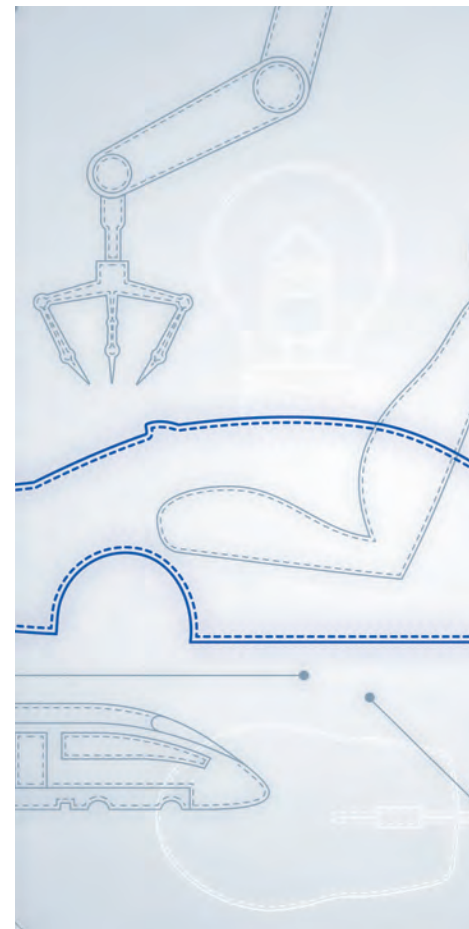
Powerful Addition

フレキシブルでオープンな ETAS LABCAR テストシステムに強力な新製品が加わりました。ES5321 PWM I/O ボードおよび ES5338 ホイールスピードセンサシミュレーションボードが、2015年12月に発売される予定です。高速の PCI Express をベースとするこれらのボードは、精度および信号品質が高いことを特徴としています。これらのボードはシャーシ、パワートレイン、ボディエレクトロニクス、および電気駆動 (ES5321) ドメインに使用できます。

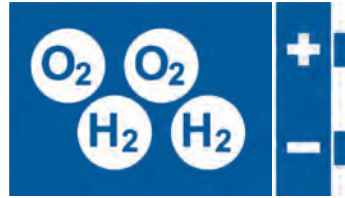
Comprehensive Analysis

包括的な分析

MDA 8 という新しい計測データ分析用ソフトウェアを使用すると、データ量の非常に多い計測を効率的に分析できます。MDA 8 の暫定版 (MDA 8 preview) は、2015年9月から公開されていますので、このツールの処理速度の高さを実感しながら、ETAS がユーザーと一緒に開発した新しい動作コンセプトを試していただくことができます。MDA 8 preview は、MDA V7.x と一緒にインストールでき、無料でご利用いただけます。追加的な使用事例は、四半期ごとに公開されるサービスパックの中で対応させていただく予定です。特に、Service Pack 1 (2015年12月) には MDF4 計測ファイルを MDF3 に変換する機能が含まれる予定です。



New Simulation Model



新しいシミュレーションモデル

ETAS LABCAR テストシステム用のポリマー電解質膜燃料電池 (PEM-FC) モデルは、自動車アプリケーション用の完全な燃料電池システムをシミュレートします。このモデルを使用すると、膜経由の水/窒素輸送から低い周囲温度まで、関連のある物理現象を考慮に入れて、アノードコイルのフラッシング、燃料電池スタックの水管理、システムのコールドスタートなど、数多くの ECU タスクをテストすることができます。このモデルはモジュール構造になっているので、お客様の要件に容易に適合させることができます。この検証済みのモデルは高精度なので、機能開発から HiL システム上での事前適合まで、あらゆる用途に最適です。

Available Modules

モジュールの提供

GM 標準ユーティリティモジュール (GM Standardized Utility Modules, GM SUM) は GM Global-B ソフトウェアプラットフォームの一環です。これらのモジュールは AUTOSAR アーキテクチャをベースとしているので、ファンクショナルソフトウェアをソフトウェアインフラストラクチャから完全に分離することができます。GM SUM は GM Global-B プラットフォーム内のすべての ECU に配置されます。これらの ETAS モジュールは ISO 26262 および MISRA-C の規格に従って開発されました。ETAS は GM 社と協力してこれらのモジュールの仕様改良に積極的に取り組んでいるので、すべての更新は GM 社のもので確実に整合しています。ETAS は 10 年にかけて AUTOSAR に関与してきた経験に基づき、全 10 個の GM SUM を総合的なベーシックソフトウェアおよびツールの製品群の一部として提供し、オンサイトの統合およびテストを行う GM サプライヤをサポートしています。

INCA for Off- Highway

INCA の オフハイウェイ用機能

INCA をシャーシ、ボディコントロール、およびオフハイウェイアプリケーションで展開するために、計測データ収集用ポーリングモードおよび CAN バス上の SAE J1939 メッセージ監視という新しい機能が組み込まれました。この新しいポーリングモードにより、たとえば XCP プロトコルの DAQ リストのようなデータ収集用サンプリングメカニズムを持たない ECU 上の計測に INCA を使用できるようになりました。この場合、新しい INCA ポーリングエンジンが CCP および XCP フォーマットで ECU に伝送される計測データを定期的にポーリングします。このポーリングモードを DAQ 計測と一緒に使用することもできるので、一度に記録できる変数の数を増やすことができます。INCA のもう一つの新機能は、CAN バス上の SAE J1939 メッセージ監視です。SAE J1939 プロトコルは、ドライブトレインや商用車のトラクタ & トレーラとモバイル装置間の通信にも頻繁に使用されています。上述のすべての新機能はすでに INCA でご利用いただけます。